

臨床腫瘍学Ⅳ

Clinical Oncology IV

単位数：5単位

○京 哲 教授：産科婦人科学
青井典明 准教授：耳鼻咽喉科

内尾祐司 教授：整形外科

1. 科目の教育方針

臨床腫瘍学Ⅳの講義・演習では、各領域別の良性ならびに悪性腫瘍の病理、診断、治療について理解を深めるだけでなく、腫瘍の発生から増殖に至る過程を分子生物学的な観点から理解できるように到達目標を定める。各領域における腫瘍性疾患の病態は多彩であり、それらを網羅的に学ぶ機会として重要な科目である。

2. 教育目標

一般目標 general instructional objectives

- 1) 臨床腫瘍学Ⅳの領域の腫瘍に関する知識を、腫瘍病理学、分子腫瘍学の立場からよりよく理解する。
- 2) 臨床腫瘍学Ⅳにおいて必要となる腫瘍性疾患を網羅的に理解し、説明することができる。

各担当者による講義内容の詳細

- ① 後任教授：耳・鼻領域に発生する良性および悪性腫瘍全般について、疫学、診断、病理、治療について講義し、理解させる。
- ② 京：女性生殖器（子宮、卵巣、膣、外陰、卵管）に発生する良性、境界悪性、悪性腫瘍の病因、疫学、診断、病理、治療、予後について婦人科腫瘍学の立場から理解する。
- ③ 内尾：良性及び悪性骨軟部腫瘍について、疫学、診断、病理、治療についての詳細を講義し、理解させる。
- ④ 後任教授：口腔咽頭領域、大唾液腺（耳下腺、顎下腺）・小唾液腺の良性・悪性腫瘍の診断、病理、治療について講義し、理解させる。
- ⑤ 青井：喉頭・下咽頭領域や甲状腺、副甲状腺の良性・悪性腫瘍の診断、病理、治療について講義し、理解させる。

行動目標 specific behavioral objectives

- 1) 臨床腫瘍学Ⅳに関連する種々の腫瘍について臨床的な特徴や特異性を説明できる。
- 2) 当該領域の腫瘍性疾患に関して、その予防や治療において、社会的に積極的に関わる態度を示し啓蒙行動などを行う資質を十分に身につける。

3. 教育の方法、進め方

講義、大学院学生によるプレゼンテーション、討論によって進める。講義は主として面接授業で行うが、新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑みて、オンライン授業に変更する場合もある。オンライン授業の場合は、Teams 等によるライブ配信を中心にオンデマンドを併用する。講義方法に変更がある場合には都度、連絡を行う。

4. 成績評価の方法

すべての講義および演習が終わった後、規定の出席率（2/3 以上）を満たした学生に対し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。そのレポート等を行動目標の達成度を主眼に評価する。

5. 使用テキスト・参考文献

- 1) CANCER Principles & Practice of Oncology 3rd edition Edited by Wincent T DeVita Jr. et al, 1989 J.B. Lippincott Compnay, Philadelphia.
- 2) Head and Neck Cancer: clinical decisions and management principles ,edited by Donald G McQuarrie 1986 Year Book Medical Publishers Inc. Chicago.
- 3) Ackerman' s Surgical Pathology I & II, 8th edition, edited by Juan Rosai, 1996, Mosby Year Book Inc, St Louis.
- 4) 頭頸部腫瘍, 21 世紀耳鼻咽喉科領域の臨床 17 巻 編集 : 野村恭也他 中山書店 2001.
- 5) PRINCIPLES AND PRACTICE OF GYNECOLOGIC ONCOLOGY (Fourth Edition) Edited by W.J. Hoskins et al., 2005 Lippincott Williams & Wilkins
- 6) CANCER CHEMOTHERAPY 6 BIOTHERAPY (Third Edituion) Edited by B.A. Chabner et al., 2001 Lippincott Williams & Wilkins
- 7) BLAUNSTEIN' S PATHOLOGIIY OF THE FEMALE GENITAL TRACT (Fifth Edition) Editor R.J. Kurman, Springer-Verlag
- 8) 標準整形外科学／鳥巢岳彦 [ほか] 編集 第9版 医学書院, 2002
- 9) 整形外科病理診断のポイント／松本圭司, 岡部英俊共著 南江堂, 1996
- 10) 軟部腫瘍診断ガイドライン : 日本整形外科学会、南江堂, 2005

6. 教育内容

回	授業内容	担 当
1	頭頸部腫瘍 総論 －頭頸部腫瘍の理解に必要な基本知識－	青井典明
2	外耳・中耳領域の良性・悪性腫瘍の診断と治療	青井典明
3	鼻副鼻腔領域の良性・悪性腫瘍の診断と治療	青井典明
4	婦人科癌の疫学・免疫学・病因論と癌予防	京 哲
5	婦人科癌の癌化学療法・手術療法・放射線療法 －基礎と臨床－	京 哲
6	婦人科癌発癌における細胞周期・癌遺伝子	京 哲
7	骨軟部腫瘍 総論 －骨軟部腫瘍の理解に必要な基本知識－	内尾祐司
8	良性および悪性骨軟部腫瘍の病態と診断	内尾祐司
9	良性および悪性骨軟部腫瘍の治療と予後	内尾祐司
1 0	口腔咽頭領域の良性・悪性腫瘍の診断と治療	青井典明
1 1	大唾液腺（耳下腺、顎下腺）・小唾液腺の良性・悪性腫瘍の診断と治療	青井典明
1 2	喉頭・下咽頭領域の良性・悪性腫瘍の診断と治療	青井典明
1 3	甲状腺・副甲状腺の良性・悪性腫瘍の診断と治療	青井典明
1 4	頭頸部癌に対する抗がん剤による化学療法の有効性と副作用	青井典明
1 5	頭頸部癌の治療における分子標的治療薬の有効性と安全性	青井典明
1 6	頭頸部領域に発生する悪性リンパ腫の診断と治療	青井典明